新規会員の声

三十八回生

「人生で一番贅沢な時」

蝦名快音

初めての電車通学で何本も見送らないと乗られない地下鉄東山線の混み具合に驚きました。時間割決めで何日も悩みました。テニス部では球拾いや審判で真っ黒に日焼けしました。サラリーマンの悲哀を感じる立ち飲み屋さんでアルバイトしています。

高校生とは違い、大学生になれば好きなだけ寝坊したり、遊んだり出来るかと思っていましたが、日々忙しく過ごしています。今は、初めてのテスト期間で課題やレポートに追われています。現在、大学では経済学、マーケティング、簿記などを幅広く学んでいます。今まで目にすることがない専門用語などを覚えることに日々苦戦しています。しかし、自分が学びたいことを学んでいるため、楽しく授業を受けています。

さて、二〇二〇年の春、新型コロナウイルス感染症により世界状況が一変した中、私たち三十八回生は母校となる美和高校に入学しました。先生方には限られた範囲の中で最大限の可能性を模索して頂きました。私たちは、コロナ禍にもかかわらず、三年間体育祭や文化祭を経験することができました。そして、修学旅行にも行くことができました。

ふりかえってみると、私たちの三年間は、仙台育英高校・須江航監督の言葉『青春って密』とは真逆の「密」とは無縁な時間だったかもしれません。しかし、尊敬できる部活の顧問の先生や友人達と過ごした何気ない毎日は一生の宝物です。そして、「当たり前なことは何もない」ことを学ぶことができた三年間は、私たち以外は経験することできない貴重な経験となりました。必ず私たちの人生に生きると信じています。今、これまでできなかった『青春って密』な時間を満喫し、人生の夏休みともいえるような有意義な時間を悔いなくすごしていきます。三十八回生の皆さんも貴重な時間を楽しみましょう。

「夢にむけて」

杉浦胡世音

美和高校を卒業して約半年が経とうとしています。高校生活の写真を振り返ると沢山の思い出がよみがえります。新型コロナウイルスで様々の影響を受けていましたが、高校生活の三年間はものすごくあっという間で青春そのものでした。今となっては高校の友達と会うことは数ヶ月に一回となりましたが、その一回一回を楽しみに毎日頑張っています。

私は今、看護学校に通っています。コロナも収まりつつあり対面授業を毎日行い、先月の六月には一週間の早期体験看護実習を行いました。今の自分の学びは高校時代とはガラッと変ったものになりました。専門的な知識を身につけるための学習が多くあり、レポート、日々の課題、毎日苦戦しながら同じ夢を持った仲間と頑張りながら生活しています。「苦しさの中にも楽しさ」、「楽しさの中にも苦しさ」がありますが、今自分の学びを一生懸命やっていこうと考えています。そして、看護師になるという同じ目標を持った仲間と支え合い、協力し合いながら、患者さんと目線を合わせながら、多様性を理解出来る看護師を目指してこれからも頑張って行きます。

さて、後輩にあたる三年生は受験に向けて暑い夏と戦っていると思います。昨年の自分の姿であり、陰ながら後輩たちの頑張りを応援しています。そして自分が、後輩たちから見てあこがれるような存在となるように日々に頑張っていきます。

最後に、まだまだコロナが五種になったとはいえ、不安定な状況が続くと思います。しかし、今までと同様に乗り越えていきたいと考えています。皆様も頑張ってまいりましょう。

「教育実習を終えて」

勝野衣久帆

私は母校である美和高等学校で三週間の教育実習をさせていただきました。

教育実習を通して普段の大学教育では学ぶことが出来ない、実際の授業現場だからこそ学べることは実際の多くの生徒をまえにしました。主に授業に実習でること実際が多くの生徒を前にしました。授業を行うこと生徒とのちろん朝のSTを行ったり、生徒と一緒に清掃時間に清掃したりしました。それら通して学んだことは生徒の授業をすることの大切さの重要性とを考えた授業をすることの大切さを考えた授業をすることの生徒の重要性に関して下さった先生に研究授業を見てもらいました。自分で勉強することを考えた授業を心がけてほしいと生徒が後から板書を写していたこと授業を心がけてほしいと生徒が後から板書を写していたこと授業を心がけてほしいと生徒が後から板書を写していたこと